

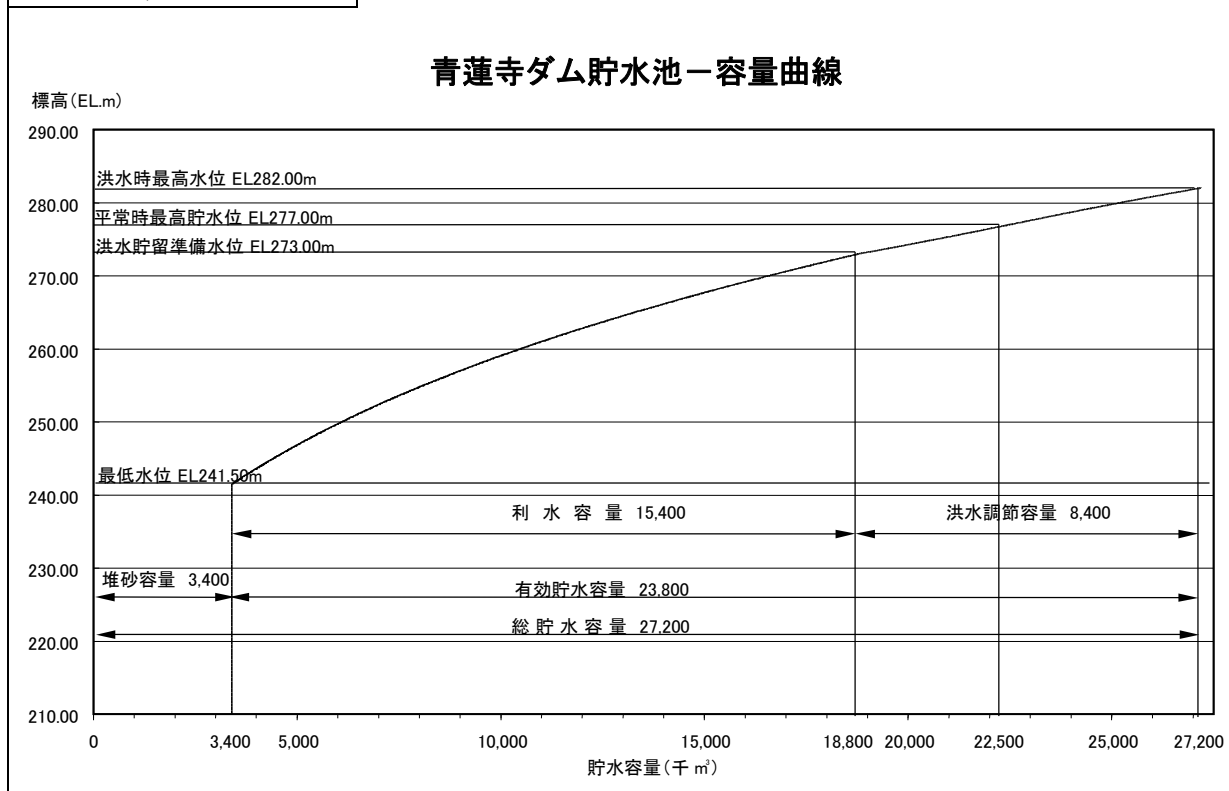
しょう れん じ
青 蓮 寺 ダ ム

1. 施設諸元

青蓮寺ダム	淀川水系 青蓮寺川
	管理開始：1970年7月1日
目 的	
<p><u>洪水調節</u> 淀川治水の一環として、ダム地点における計画高水流量 977m³/s を 450m³/s に調節する。</p> <p><u>かんがい</u> 不特定かんがい等 5月16日～9月15日の間、名張既成農地に 1.66m³/s のかんがい用水を補給する。6月16日～9月15日の間、木津川沿岸既成農地に 1.3m³/s のかんがい用水を補給する。 特定かんがい 名張、伊賀地区に特定かんがい用水として 1.60m³/s を補給する。</p> <p><u>水道用水</u> 名張地区に年間を通じて 0.19m³/s、阪神地区に 2.3m³/s を補給する。</p> <p><u>発 電</u> 最大出力 2,000kW の発電を行う。（～H25.3 三重県 H25.4～中部電力）</p>	

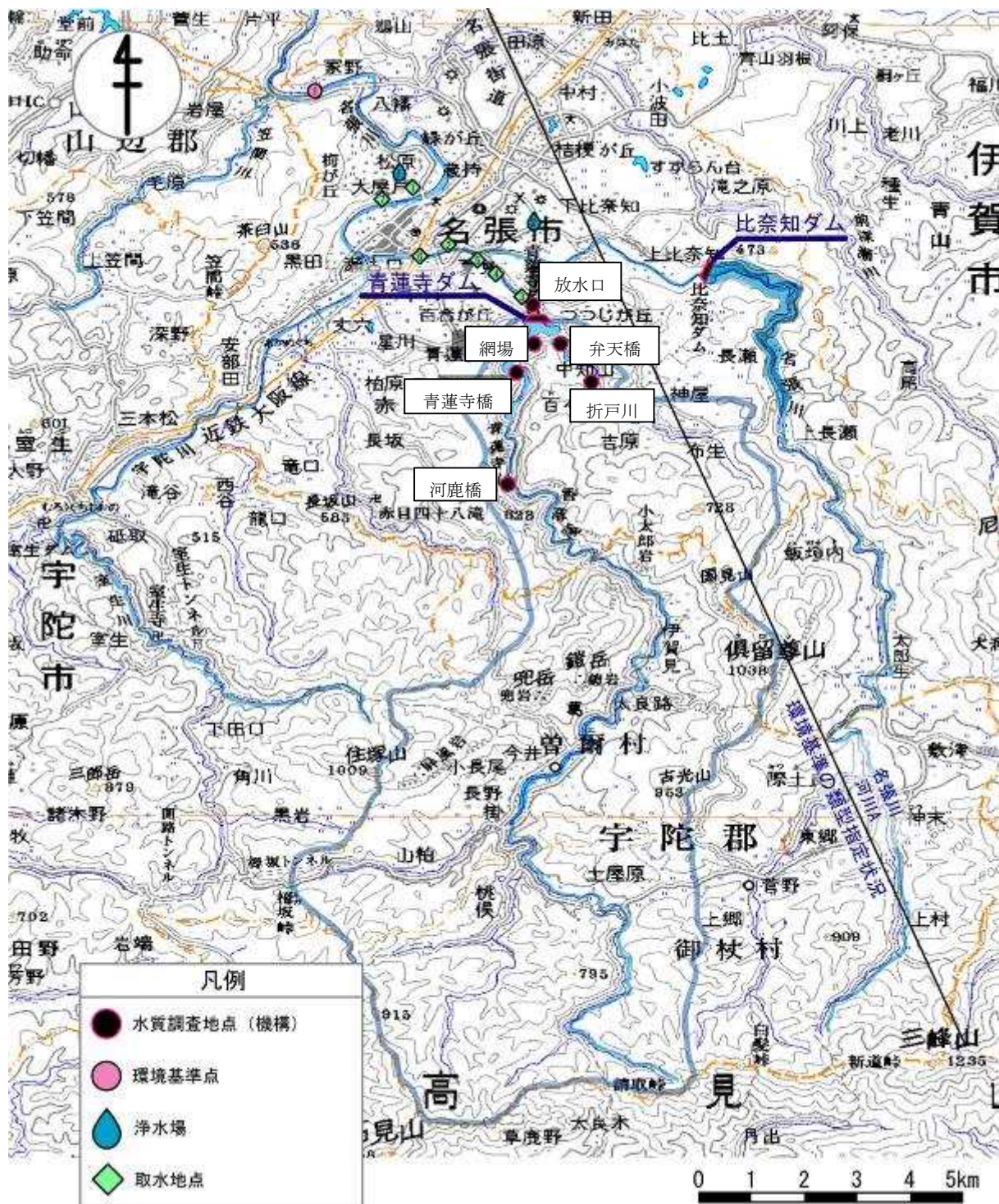
諸 元			
河川名	淀川水系 木津川支川 名張川支川 青蓮寺川	流域面積	100 km ²
位置	右岸 三重県名張市中知山字下ン田	湛水面積	1.04 km ²
	左岸 三重県名張市青蓮寺字ガオヤ	湛水延長	7.4 km
型式	アーチ式コンクリートダム	平常時最高貯水位	EL. 277.00 m
堤頂長	275.0 m	洪水貯留準備水位	EL. 273.00 m
堤高	82.0 m	最低水位	EL. 241.50 m
堤体積	175,000 m ³	総貯水容量	27,200,000 m ³
		有効貯水容量	23,800,000 m ³

貯水池水位-容量曲線図



2. 水質基本情報

(1) 水質基本情報図



(2) 主な取水状況

取水地点	浄水場地点	取水者情報		取水地点	使用用途
1	1	名張市	大屋戸浄水場	名張川左岸（名張市）	水道用水
2	2	〃	富貴ヶ丘浄水場	名張川右岸（名張市）	水道用水
		大阪広域水道企業団	三島浄水場	淀川右岸（摂津市）	水道用水
		大阪市	豊野浄水場	淀川左岸（枚方市）	水道用水
		枚方市	中宮浄水場	淀川左岸（枚方市）	水道用水
		守口市	守口浄水場	淀川左岸（守口市）	水道用水
		尼崎市	神崎浄水場	淀川右岸（摂津市）	水道用水
		阪神水道企業団	猪名川浄水場	淀川右岸（大阪市）	水道用水
3		青蓮寺用水		青蓮寺ダム（名張市）	農業用水
4		三ヶ村井堰		青蓮寺川左岸（名張市）	農業用水
5		上井出揚水		青蓮寺川左岸（名張市）	農業用水
6		高岩井堰		名張川右岸（名張市）	農業用水
7		松原井堰		名張川左岸（名張市）	農業用水

* 4～7を除き青蓮寺ダム利水者

(3) 環境基準地点

	水域	地点名称	該当類型	機構測定地点
1	名張川	家野橋	河川A、河川生物A	

(4) 環境基準類型指定

青蓮寺川流域は環境基準類型が未指定であるため、河川については本川の名張川の環境基準類型を参考とし、ダム湖については河川の基準類型と同じ湖沼A類型及び湖沼Ⅱ類型を参考とする。

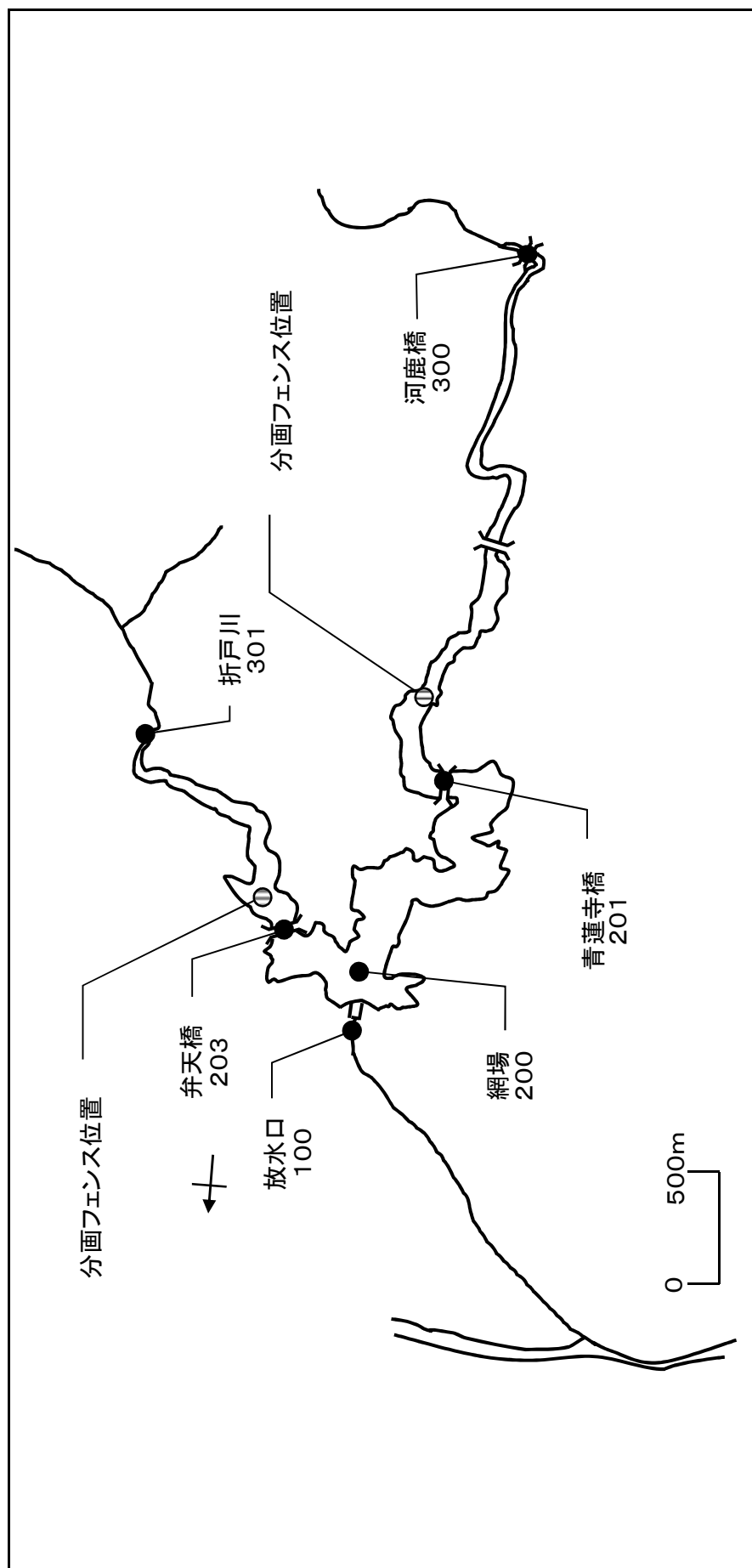
1) 名張川

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	BOD	SS	DO	大腸菌数
河川A	昭和49年	6.5以上 8.5以下	2mg/L以下	25mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
		全亜鉛	ノニル フェノール	直鎖アルキルヘ ンゼン硫酸 及びその塩		
河川生物 A	平成27年	0.03mg/L以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下		

2) 湖沼A、II類型(参考)

環境基準 類型区分	類型指定年	項目及び基準値				
		pH	COD	SS	DO	大腸菌数
湖沼A	—	6.5以上 8.5以下	3mg/L以下	5mg/L以下	7.5mg/L以上	300CFU /100mL以下
		全窒素	全りん			
湖沼II	—	0.2mg/L以下	0.01 mg/L 以下			

3. 水質調査の実施状況
 (1) 水質調査地点位置図



- 下流河川：100番台（代表地点を100番とする。）
- 貯水池内：200番台（代表地点を200番とし、補助地点を201、203とする。）
- 流入河川：300番台（代表地点を300番とし、補助地点を301とする。）

(2)2023年 調査実施状況(項目、測定地点、測定回数)

(年測定回数:回)

	調査項目	流入河川		貯水池内			下流河川(放流)	
		300 河鹿橋	301 折戸川	200 網場	201 青蓮寺橋	203 弁天橋	100 放水口	
一般項目	透視度	12	12				12	
	透明度			12	12	12		
	水色			12	12	12		
	臭気	12	12	12*	12	12	12	
	水温	12	12	12**	12**	12**	12	
	濁度	12	12	12**	12**	12**	12	
	電気伝導度	12	12	12**	12**	12**	12	
	酸化還元電位			12**				
	溶存酸素量(DO)	12	12	12**	12**	12**	12	
	水素イオン濃度(pH)	12	12	12*			12	
生活環境項目 (環境基準) など	生物学的酸素要求量(BOD)	12	12	12*			12	
	化学的酸素要求量(COD)	12	12	12*			12	
	浮遊物質質量(SS)	12	12	12*			12	
	大腸菌数	12	12	12*			12	
	全窒素	12	12	12*			12	
	全りん	12	12	12*			12	
	全亜鉛	12	12	12			12	
	ノニルフェノール	12	12	12			12	
	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	12	12	12			12	
	クロロフィルa	12	12	12*	12	12	12	
富栄養化 関連項目	フェオフィチンa			12*				
	アンモニア性窒素	12	12	12*				
	亜硝酸性窒素	12	12	12*				
	硝酸性窒素	12	12	12*				
	オルトリン酸態リン	12	12	12*				
	溶解性総リン	12	12	12*				
形態別 栄養塩 項目	溶解性オルトリン酸態リン	12	12	12*				
	水道水源 関連項目	トリハロメタン生成能			4			
		2-MIB			8			
		ジェオスミン			8			
	健康 項目	カドミウム			1			
		全シアン			1			
		鉛			1			
		六価クロム			1			
		砒素			1			
		総水銀			1			
		アルキル水銀			1			
		PCB			1			
		ジクロロメタン			1			
		四塩化炭素			1			
		1,2-ジクロロエタン			1			
		1,1-ジクロロエチレン			1			
		シス-1,2-ジクロロエチレン			1			
1,1,1-トリクロロエタン				1				
1,1,2-トリクロロエタン				1				
トリクロロエチレン				1				
テトラクロロエチレン				1				
1,3-ジクロロプロペン				1				
チウラム				1				
シマジン				1				
チオベンカルブ				1				
ベンゼン				1				
セレン				1				
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素				12				
ふっ素				1				
ほう素			1					
1,4-ジオキサン			1					
底質	強熱減量			1				
	化学的酸素要求量(COD)			1				
	全窒素			1				
	全りん			1				
	硫化物			1				
	鉄			1				
	マンガン			1				
	カドミウム			1				
	鉛			1				
	六価クロム			1				
	砒素			1				
	総水銀			1				
	アルキル水銀			1				
	PCB			1				
	チウラム			1				
	シマジン			1				
	チオベンカルブ			1				
セレン			1					
粒度組成			1					
備考	・生活環境項目など ①12回:毎月測定 ②4回:2月、5月、8月、11月測定 ③8回:2月、5~11月測定							
	・健康項目:8月測定							
	・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、形態別栄養塩項目の「硝酸性窒素」と「亜硝酸性窒素」の分析結果にて算出							
	・底質項目:8月測定 *:3水深測定項目(表層、1/2水深、底層) **:計器測定項目(多水深測定)							

4. 2023年 水質の概況

(1) 施設全体の水質の概況

2023年の青蓮寺ダムの水質状況は、貯水池内、流入河川ともに例年と概ね同じ傾向であった。なお、流入河川においては突発的に高い値を示す月があったが、これは調査時の天候の影響と考えられる。

なお、大腸菌数については、昨年の4月から測定を開始しているため、例年との比較は行っていない。

藻類等については発生しなかった。

(2) 地点毎の水質の状況

1) 300 河鹿橋（流入河川）

2023年の経月変化と過去5年平均を比較すると、全ての測定値について、例年とほぼ同じ傾向で推移したが、9、10月に突出した値を示す項目があった。水温、pH、DO、大腸菌数、LAS及びノニルフェノールについてはほぼ例年どおりに推移した。COD、SS、濁度、全窒素及び全りんは9、10月の測定値が他月に比べて高い値を示し、BOD、クロロフィルa及び全亜鉛は9月の値が他月に比べて高い値を示している。9月及び10月の測定値については、調査日当日の降雨により流入量が増えた影響が考えられる。なお、BODとSSの9月の測定値を除いて、全ての項目で環境基準値を達成している。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、多くの項目が横ばいであったが、SSについては9月の高い測定値の影響でやや高い値を示した。

2) 301 折戸川（流入河川）

2023年の経月変化と過去5年平均を比較すると、全ての測定値について、例年とほぼ同じ傾向で推移したが、BOD、COD、全窒素及び全りんについては、10月にやや高い値を示した。10月の測定値については、調査日当日の降雨により流入量が増えた影響が考えられる。なお、大腸菌数の6月の測定値を除いて、全ての項目で環境基準値を達成している。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、全ての項目がほぼ横ばいであった。

3) 200 網場（貯水池内基準地点 表層）

2023年の経月変化と過去5年平均を比較すると、水温、pH、SS、DO、全りん、全亜鉛、LAS及びノニルフェノールは例年とほぼ同程度で推移したが、pHが9月、SSが6月と9月、全りんが6月、全亜鉛が7月に高い値を示した。このうち、pHの9月、全亜鉛の7月の値は環境基準値を超過している。BOD、CODについては5、6、10月に高い値を示し、CODの5、8、9、10月の測定値は環境基準値を超過した。濁度とクロロフィルaは、5、6、9月に高い値を示し、クロロフィルaは例年以上に月ごとの測定値の差が大きい。全窒素は、例年より同程度か低い値で推移している。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、全ての項目がほぼ横ばいであった。

4) 100 放水口（下流河川）

2023年の経月変化と過去5年平均を比較すると、水温、pH、BOD、SS、濁度、DO、全りん、クロロフィルa、全亜鉛、LAS及びノニルフェノールは例年とほぼ同程度で推移したが、このうち濁度と全りんは6月にやや高い値を示し、クロロフィルaは5、6、8月にやや高い値を示している。全窒素は例年よりほぼ低い値で推移している。なお、全ての項目で環境基準値を達成している。6月の濁度については、直前の出水の影響が考えられる。

2023年の年平均値又は年間75%値の経年変化をみると、全ての項目がほぼ横ばいであった。

(2)健康項目

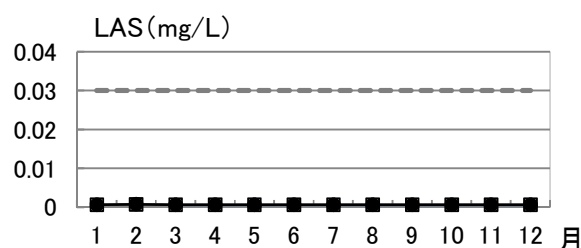
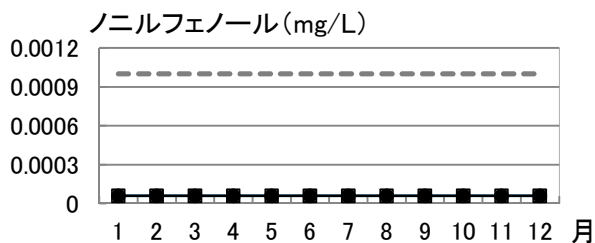
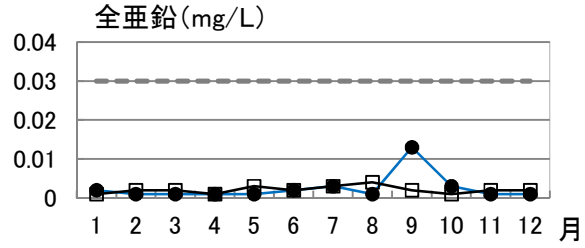
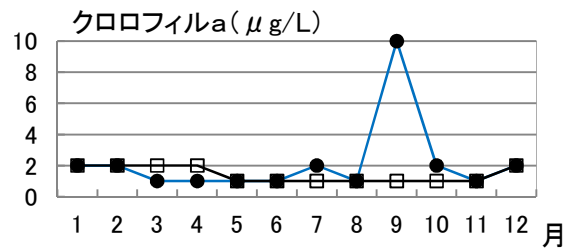
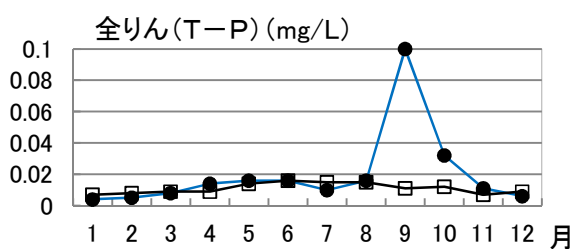
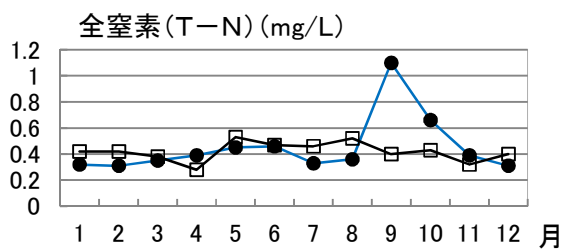
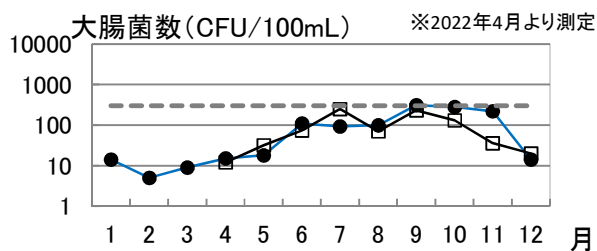
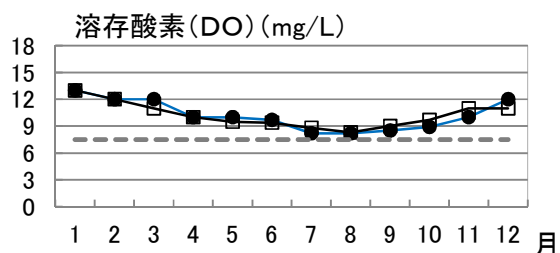
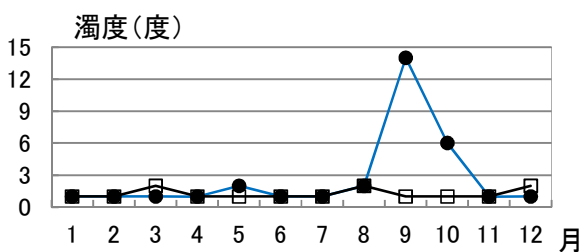
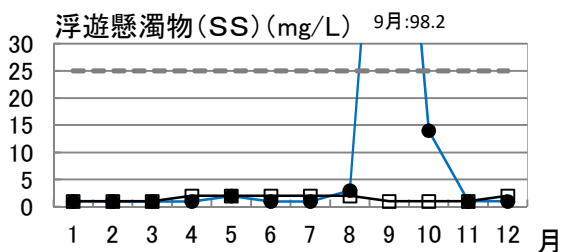
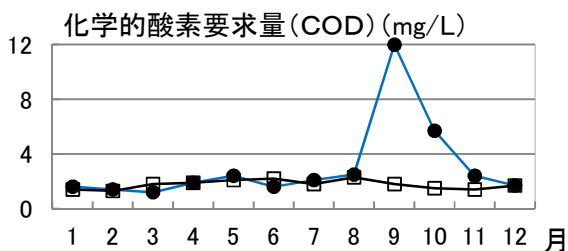
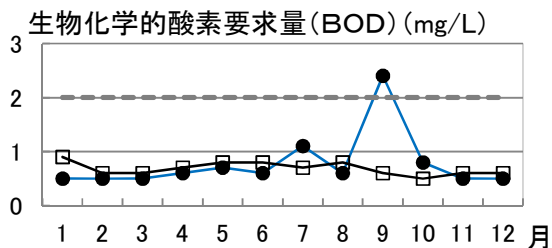
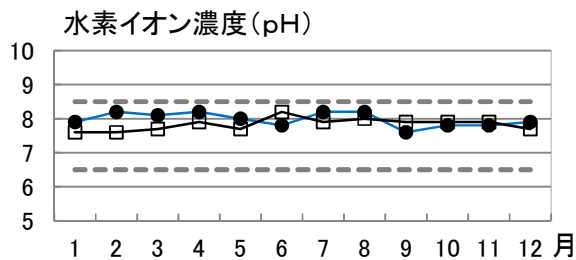
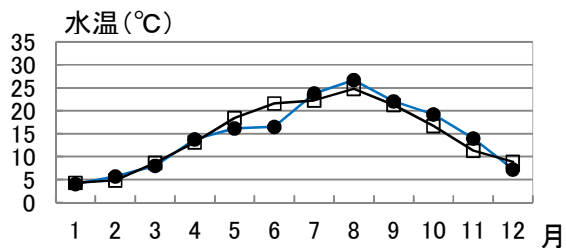
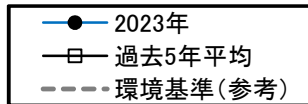
測定項目	環境基準値	地点名	8月
カドミウム (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003
全シアン (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.1
鉛 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005
六価クロム (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.01
砒素 (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.005
総水銀 (mg/l)	0.0005	200貯水池内基準地点	<0.0005
アルキル水銀 (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005
PCB (mg/l)	検出されないこと	200貯水池内基準地点	<0.0005
ジクロロメタン (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002
四塩化炭素 (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004	200貯水池内基準地点	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.1	200貯水池内基準地点	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04	200貯水池内基準地点	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0006
トリクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
1, 3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002	200貯水池内基準地点	<0.0002
チウラム (mg/l)	0.006	200貯水池内基準地点	<0.0006
シマジン (mg/l)	0.003	200貯水池内基準地点	<0.0003
チオベンカルブ (mg/l)	0.02	200貯水池内基準地点	<0.002
ベンゼン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.001
セレン (mg/l)	0.01	200貯水池内基準地点	<0.002
ふっ素 (mg/l)	0.8	200貯水池内基準地点	<0.08
ほう素 (mg/l)	1	200貯水池内基準地点	<0.1
1,4-ジオキサン (mg/l)	0.05	200貯水池内基準地点	<0.005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10	200貯水池内基準地点	<1

(3)底質項目

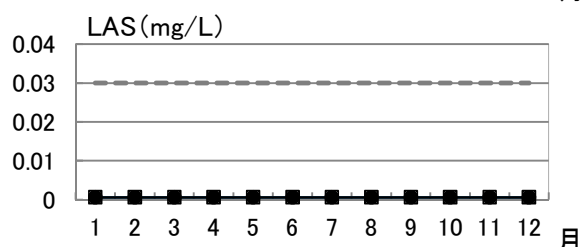
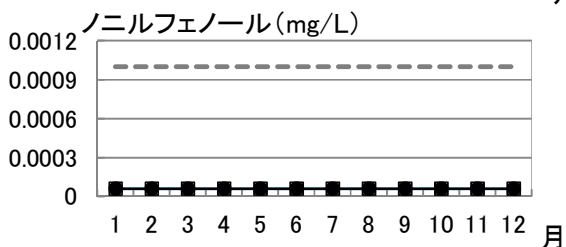
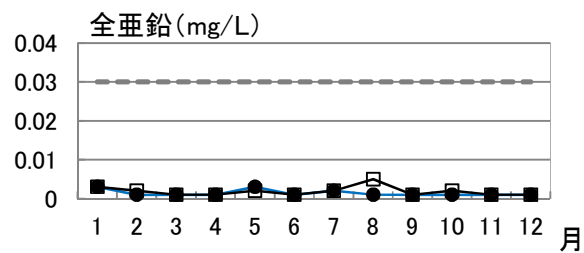
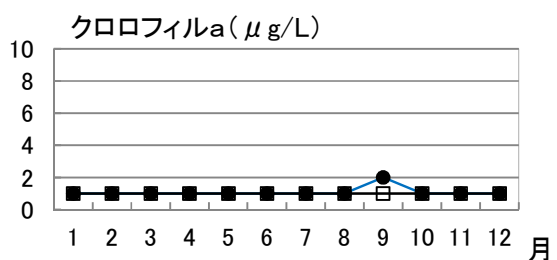
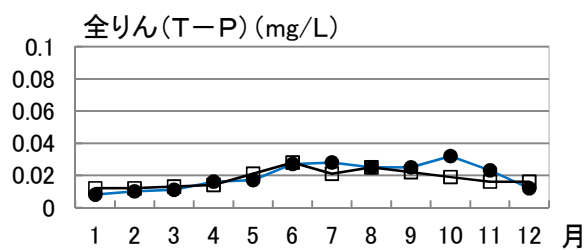
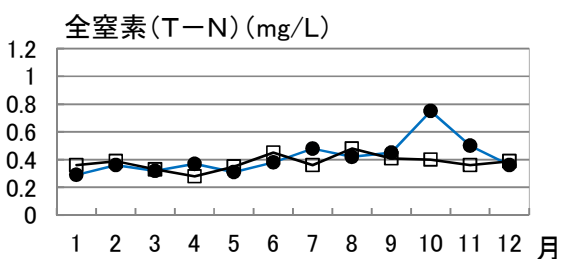
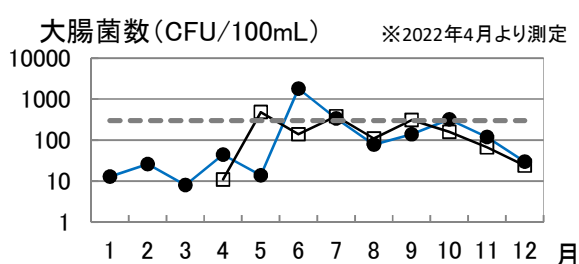
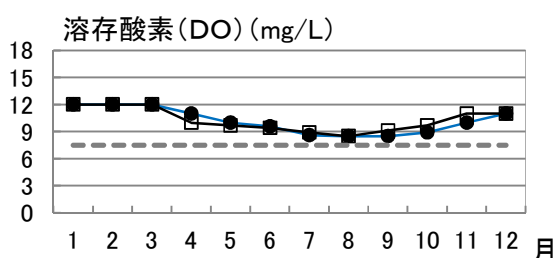
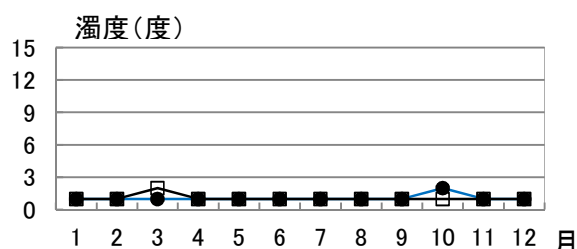
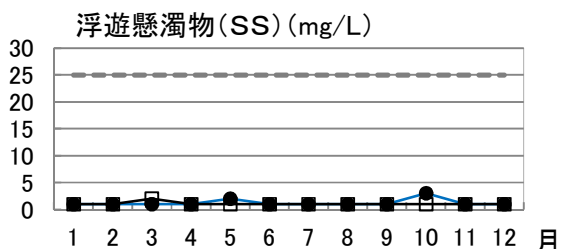
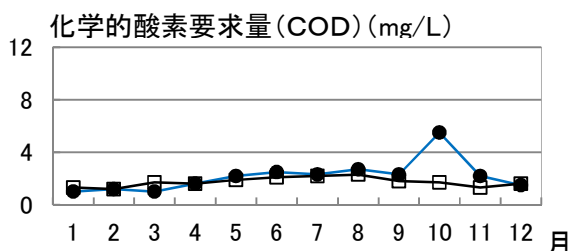
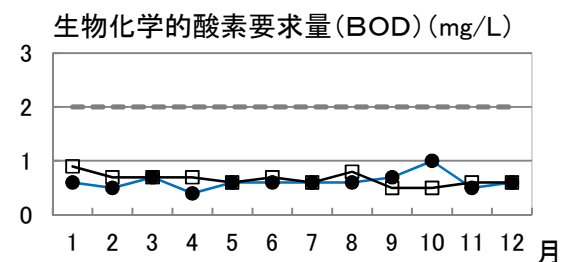
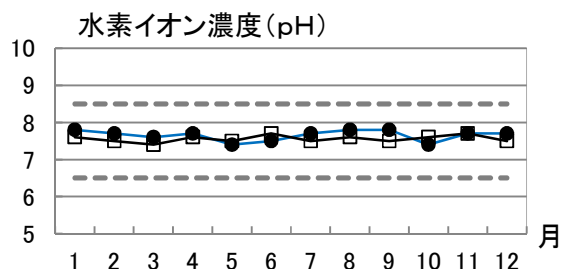
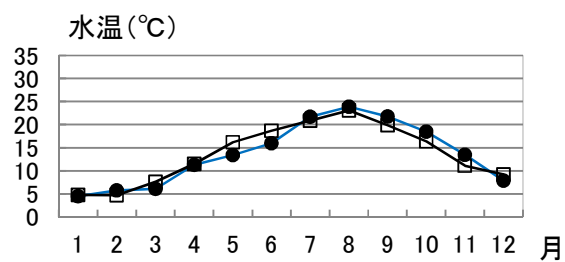
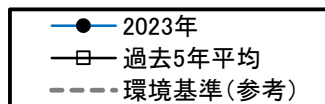
測定項目	地点名	8月
強熱減量 (%)	200貯水池内基準地点	11.6
化学的酸素要求量(COD) (mg/g)	200貯水池内基準地点	42
全窒素(T-N) (mg/g)	200貯水池内基準地点	2.9
全りん(T-P) (mg/g)	200貯水池内基準地点	1.12
硫化物 (mg/g)	200貯水池内基準地点	0.12
鉄 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	45000
マンガン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	1100
カドミウム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.18
鉛 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	22.6
6価クロム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.08
砒素 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	10.30
総水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	0.360
アルキル水銀 (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.005
PCB (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01
チウラム (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01
シマジン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01
チオベンカルブ (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.01
セレン (mg/kg)	200貯水池内基準地点	<0.5
粒度組成(底質)4.75mm以上 (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)4.75~2mm (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)2~0.425mm (%)	200貯水池内基準地点	0.0
粒度組成(底質)0.425~0.075mm (%)	200貯水池内基準地点	0.5
粒度組成(底質)0.075~0.005mm (%)	200貯水池内基準地点	66.1
粒度組成(底質)0.005mm以下の粘土分 (%)	200貯水池内基準地点	33.4

6. 2023年 水質の経月変化

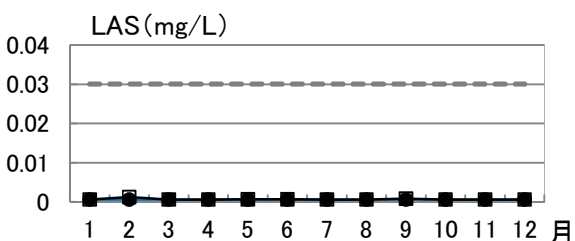
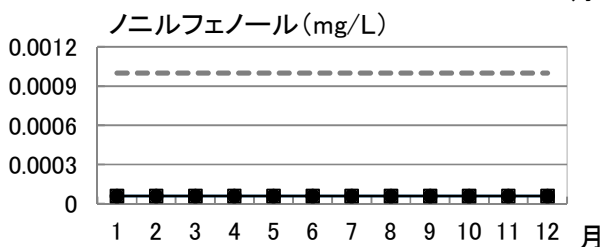
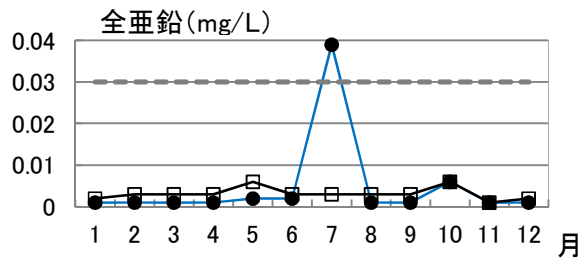
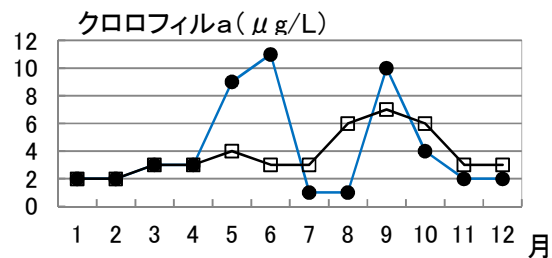
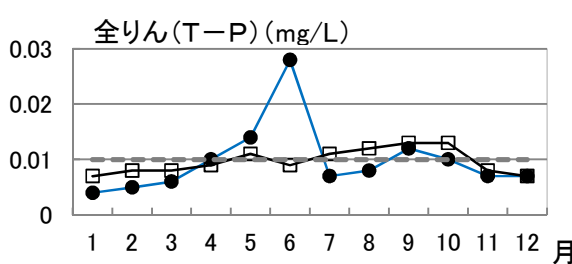
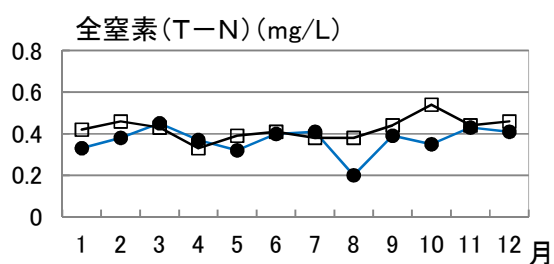
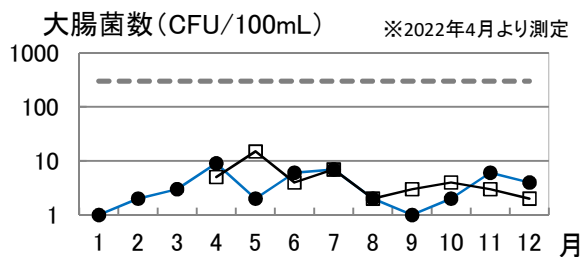
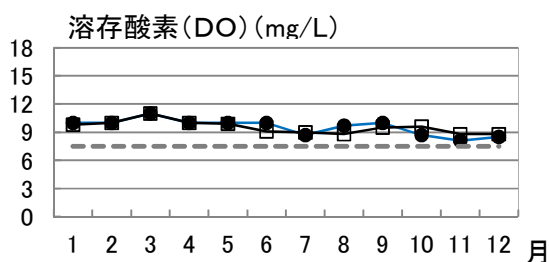
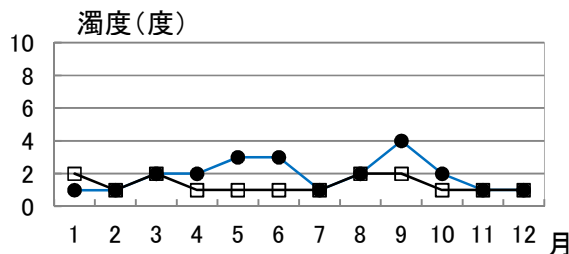
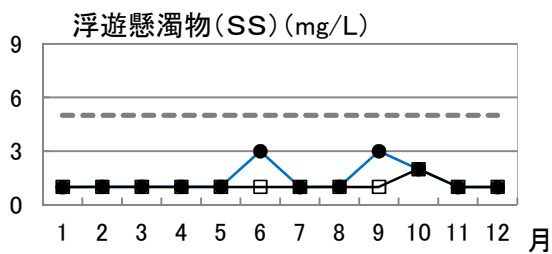
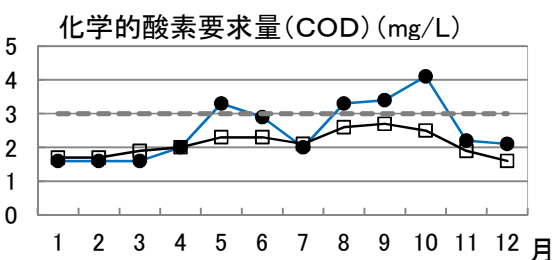
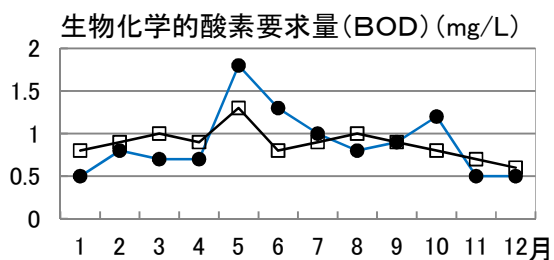
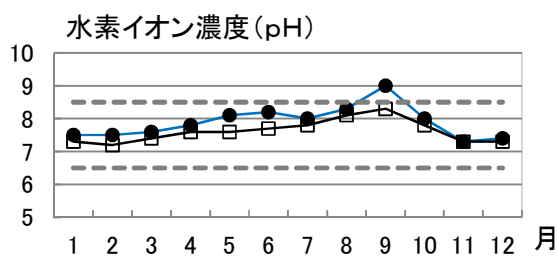
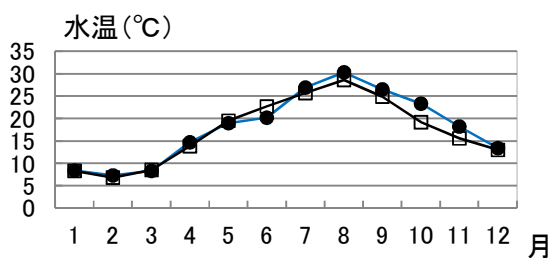
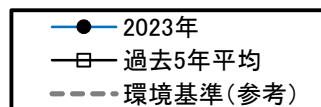
(1)300河鹿橋(流入河川)



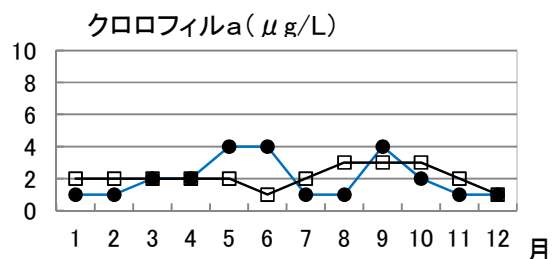
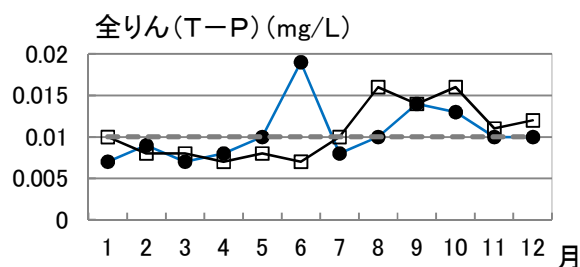
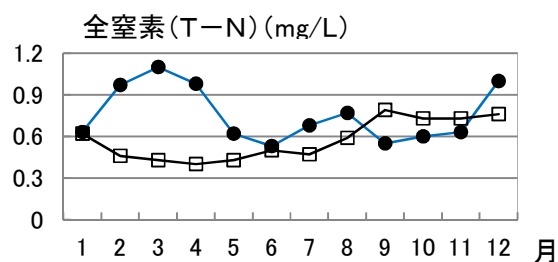
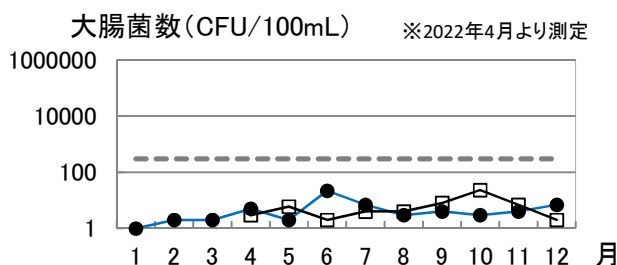
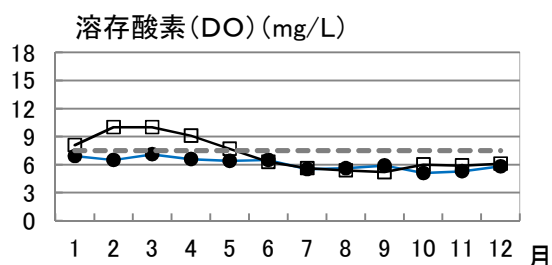
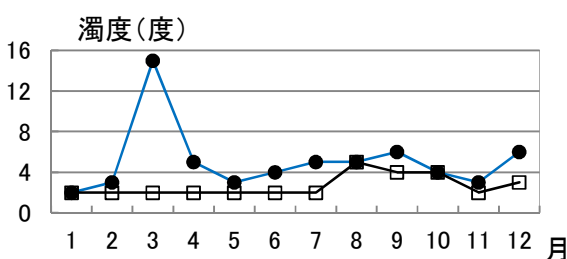
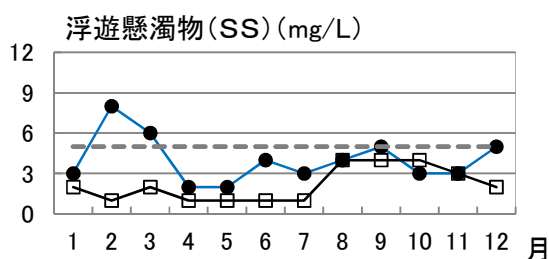
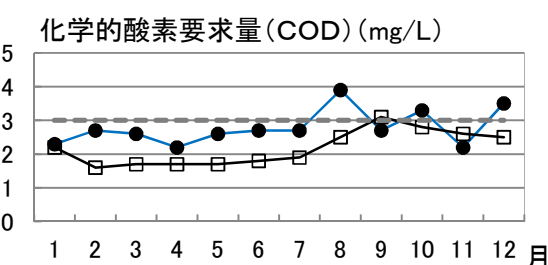
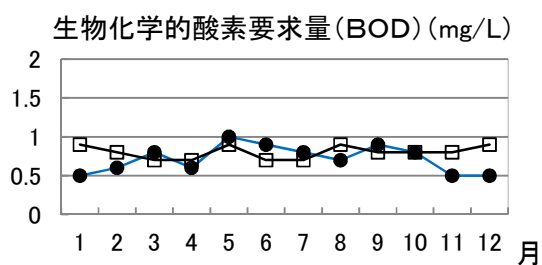
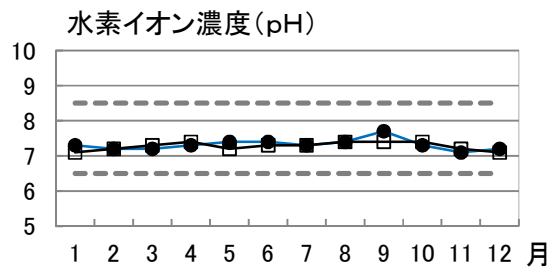
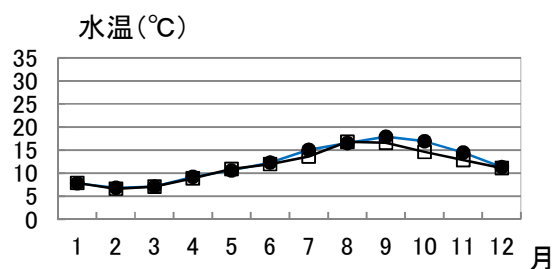
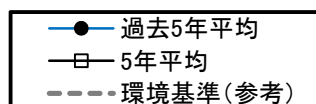
(2) 301折戸川(流入河川)



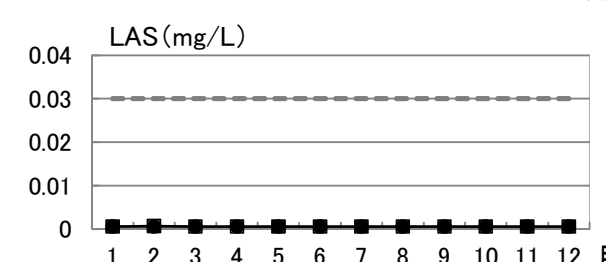
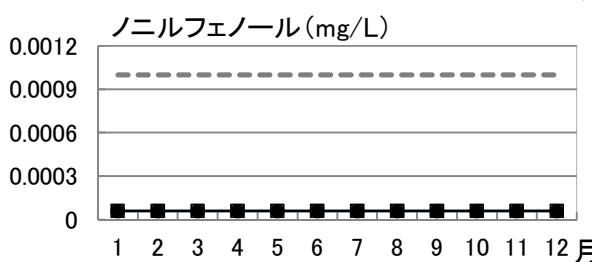
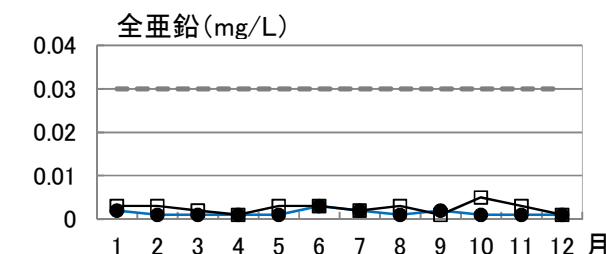
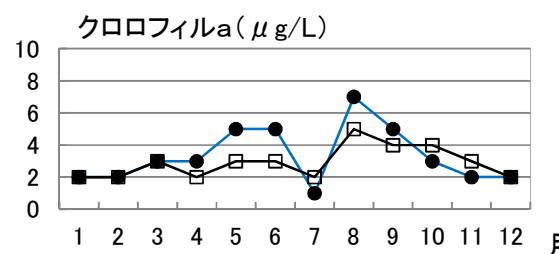
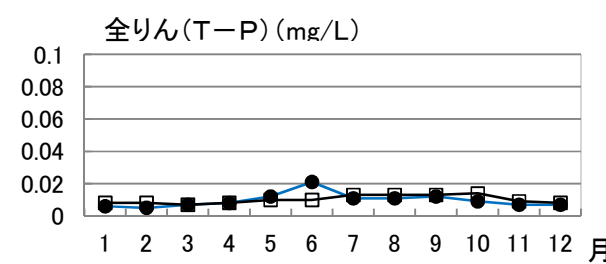
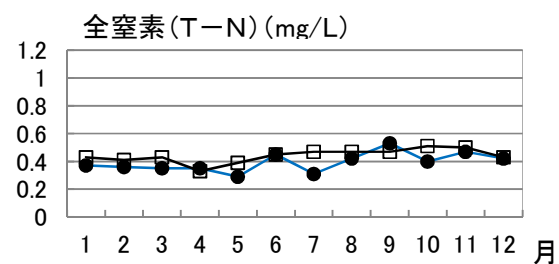
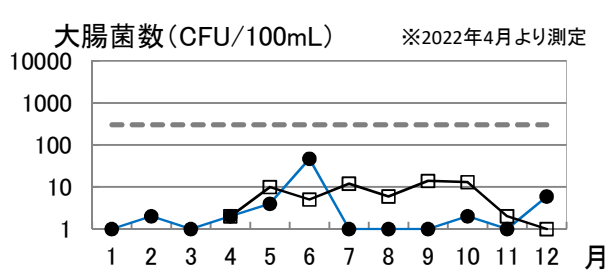
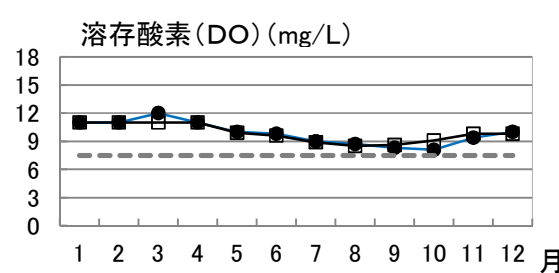
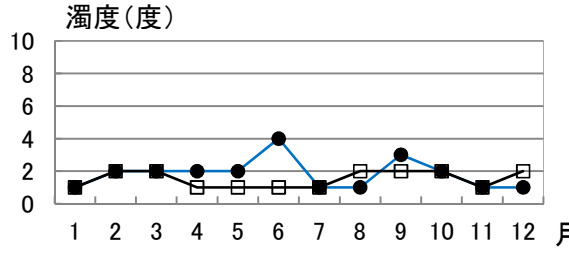
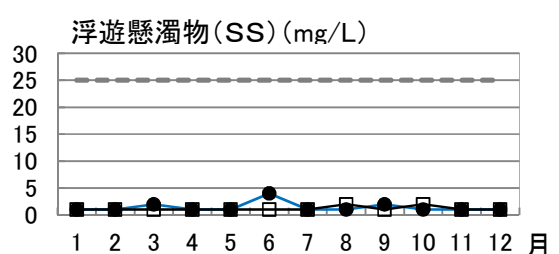
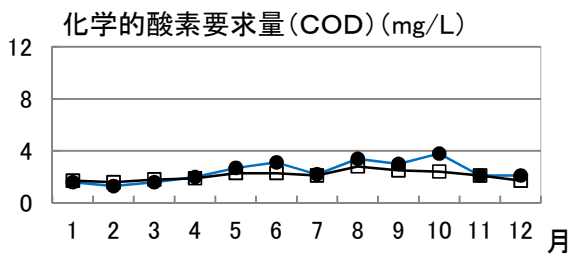
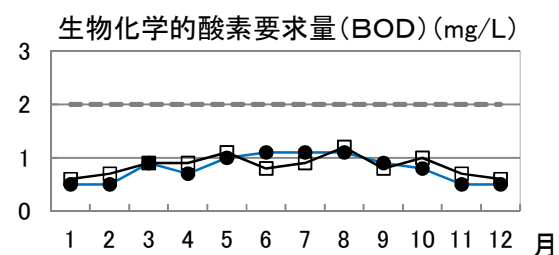
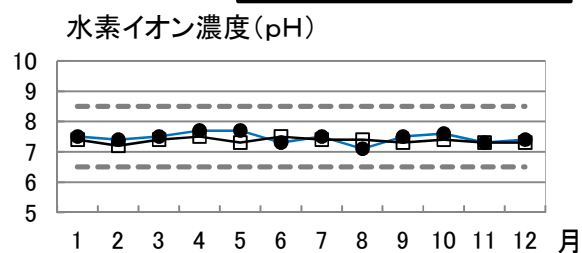
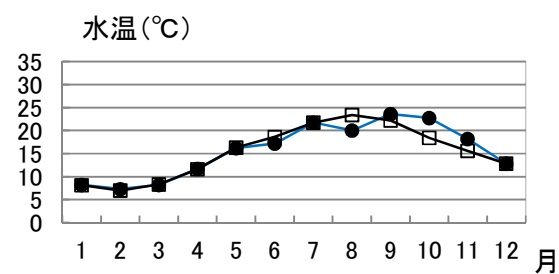
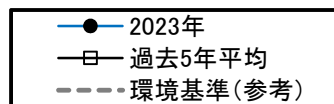
(3) 200貯水池内基準地点(表層)



(4) 200貯水池内基準地点(全層)

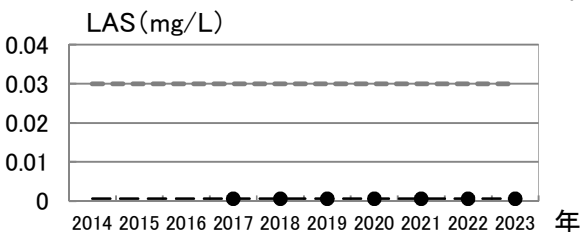
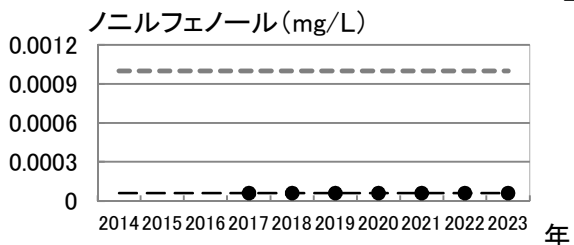
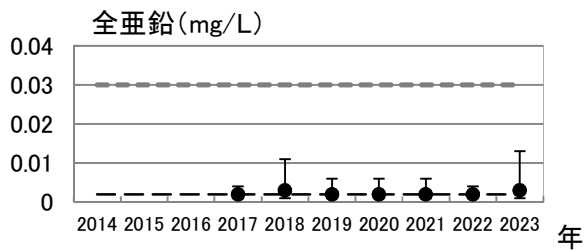
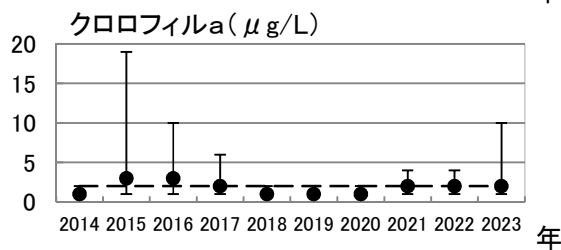
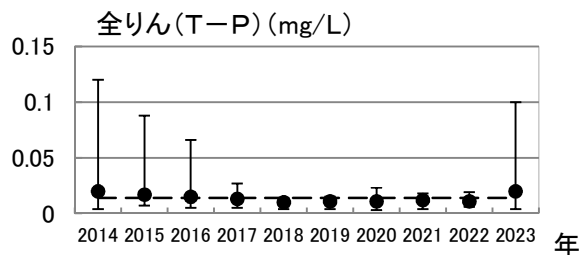
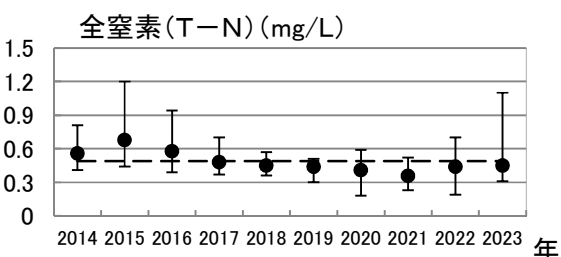
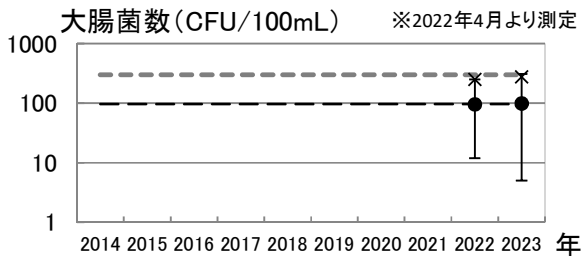
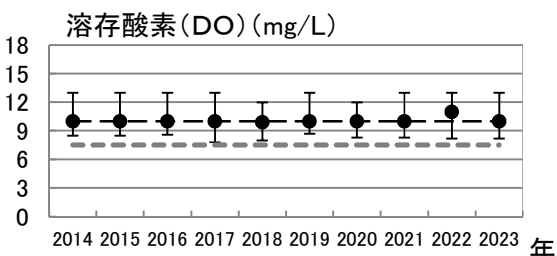
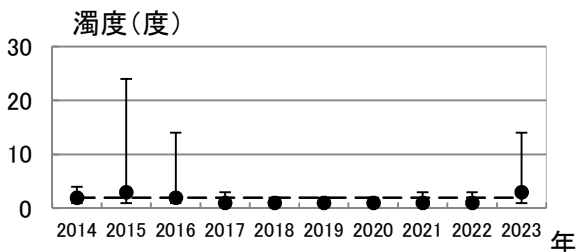
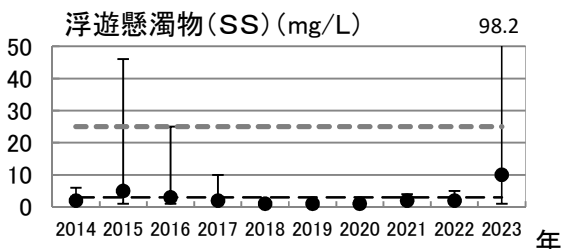
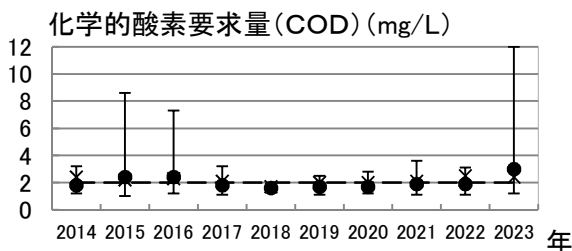
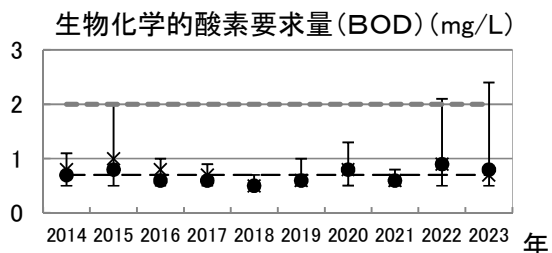
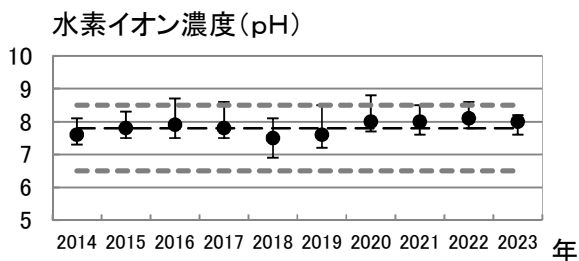
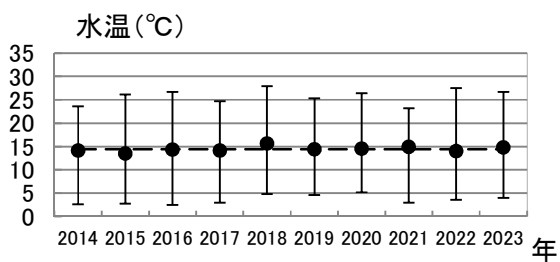
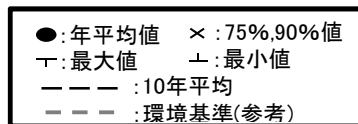


(5) 100放水口(下流河川)

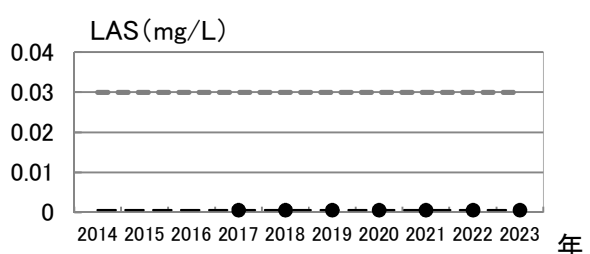
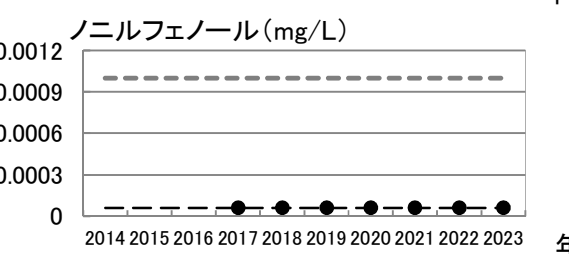
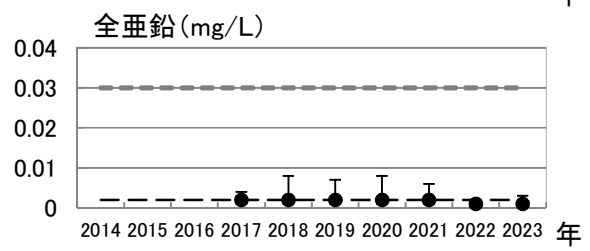
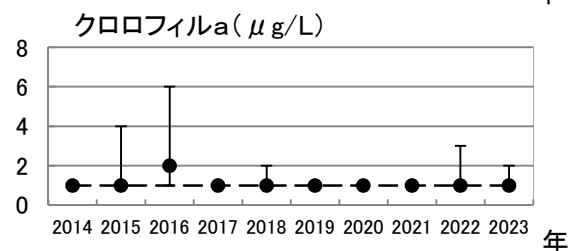
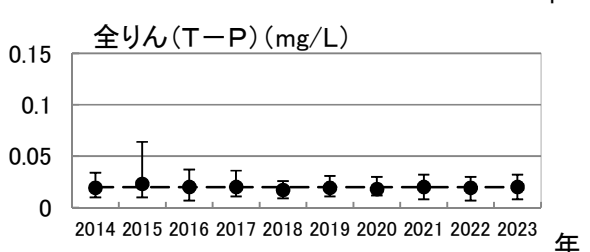
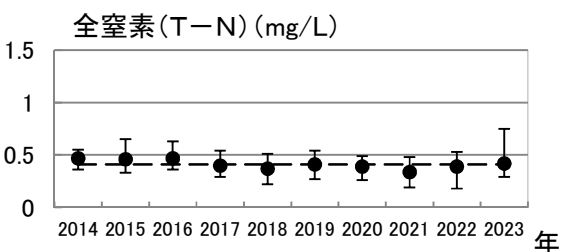
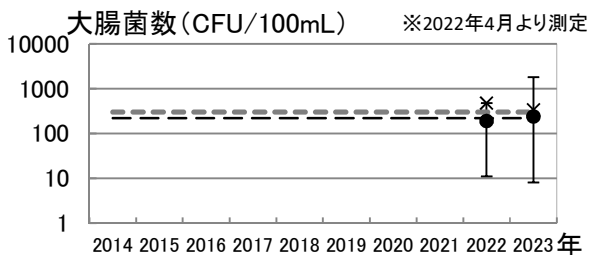
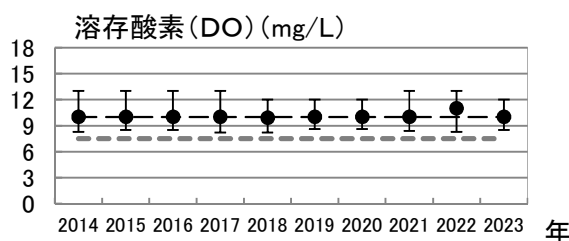
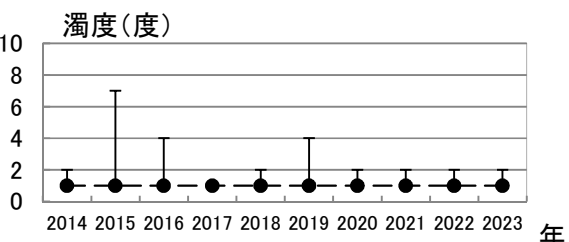
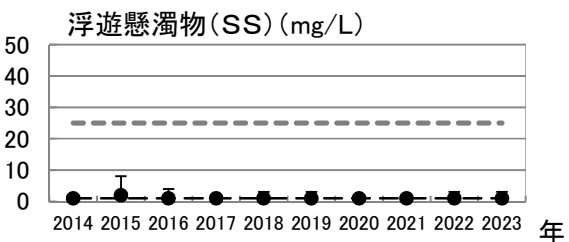
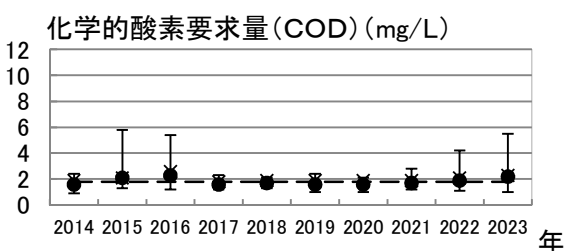
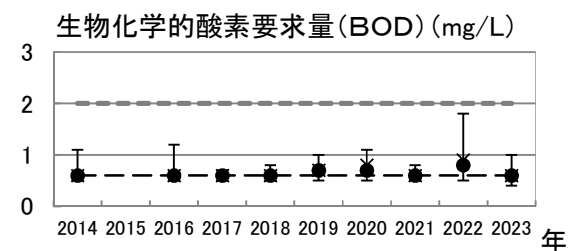
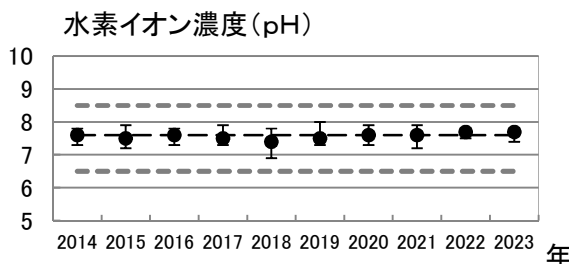
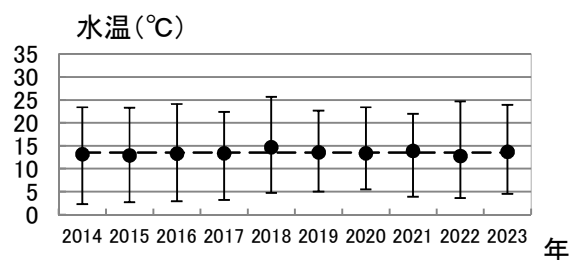
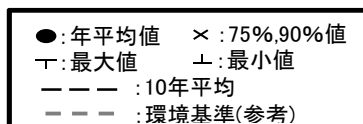


7. 2023年 水質の経年変化

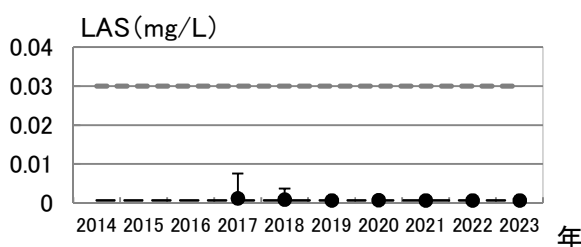
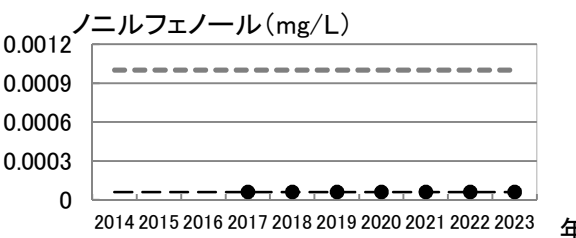
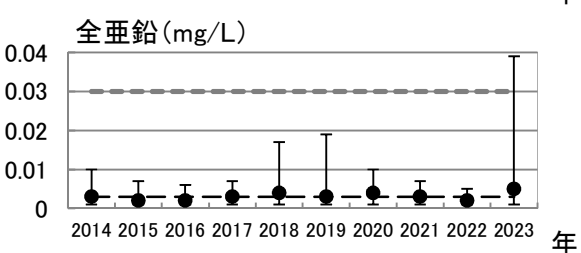
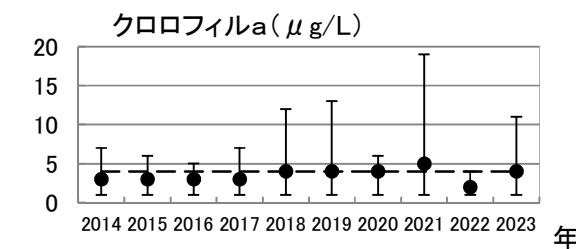
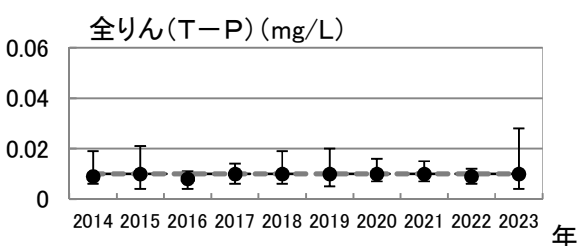
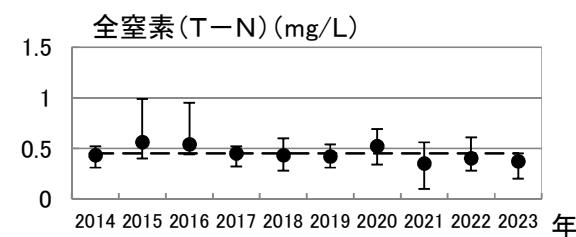
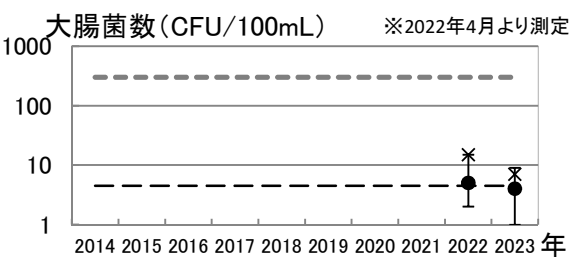
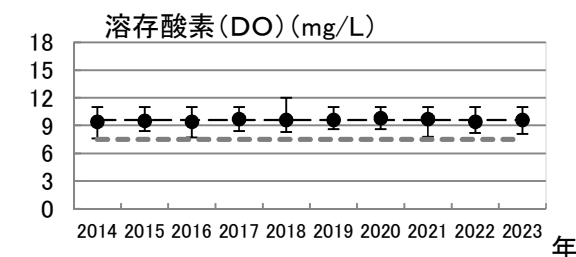
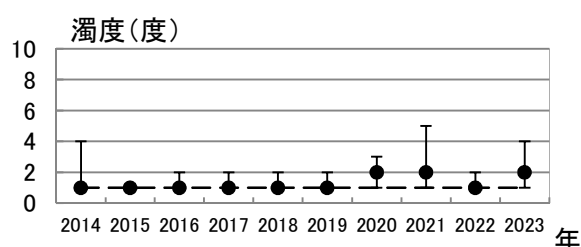
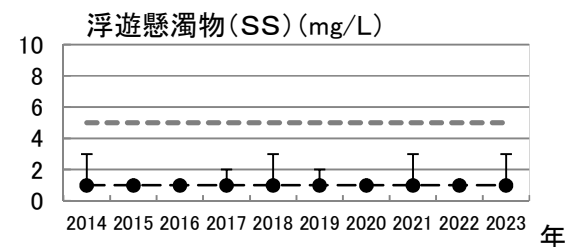
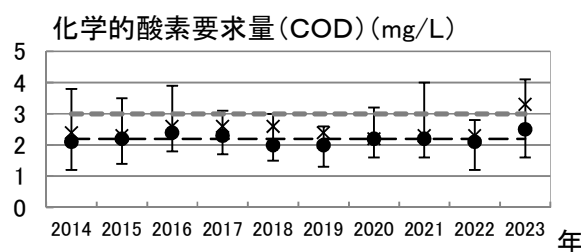
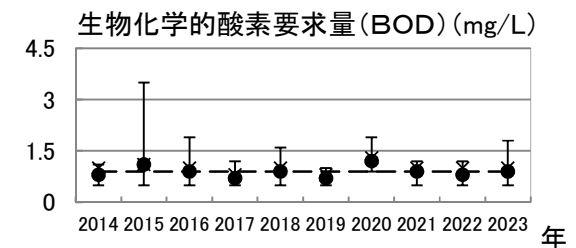
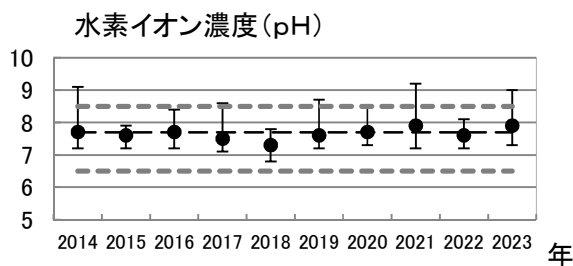
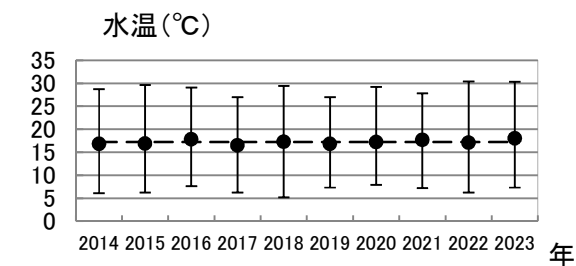
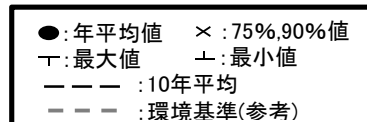
(1) 300河鹿橋(流入河川)



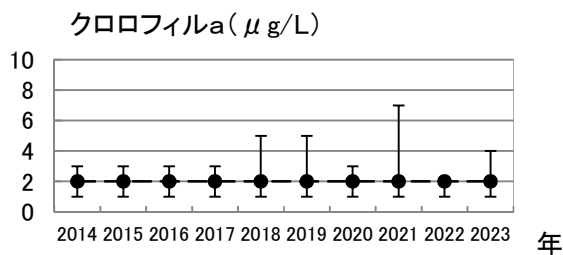
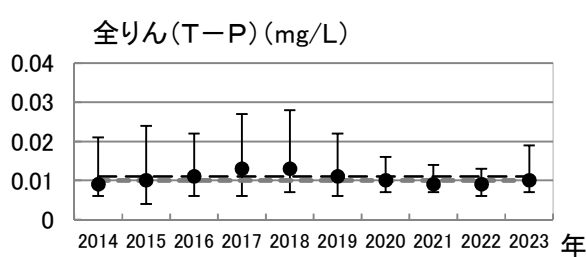
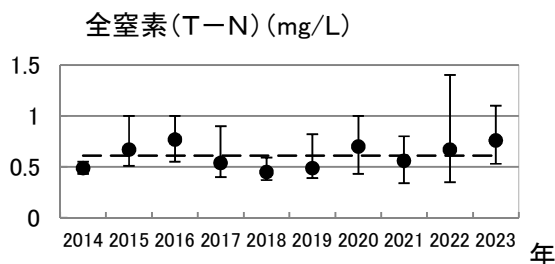
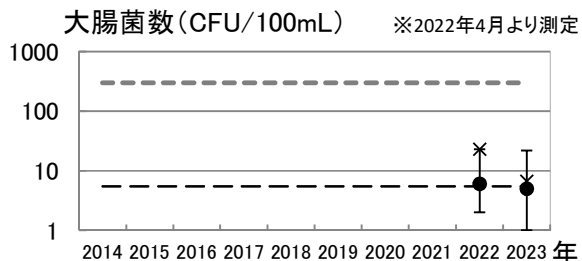
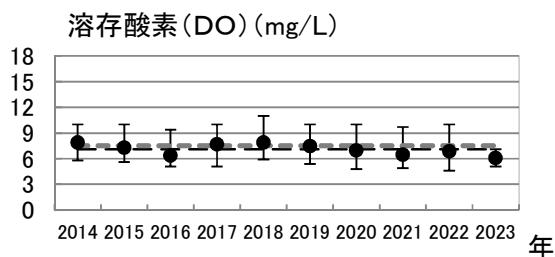
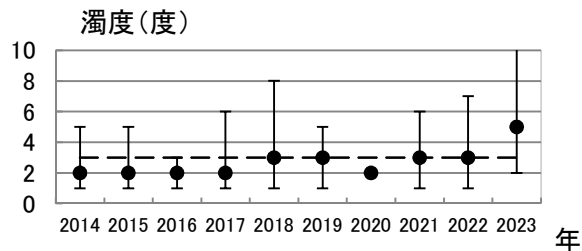
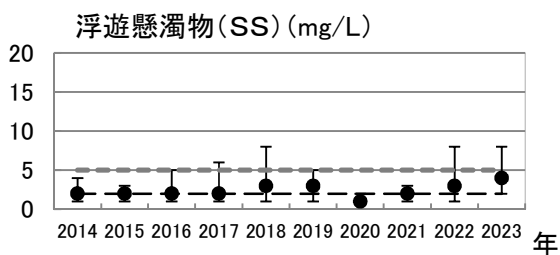
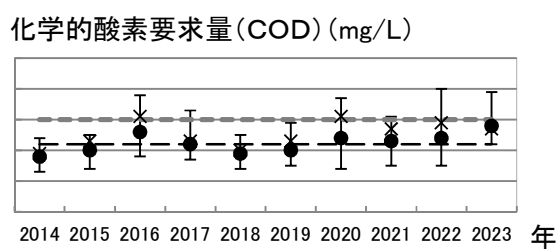
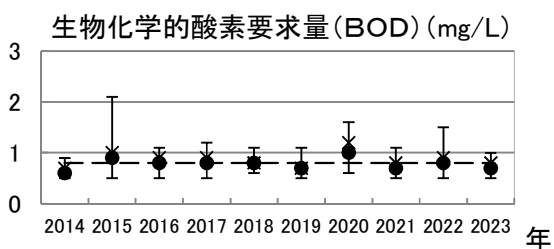
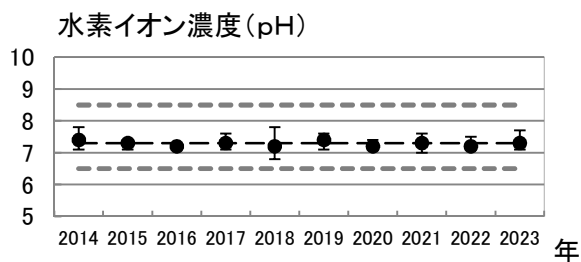
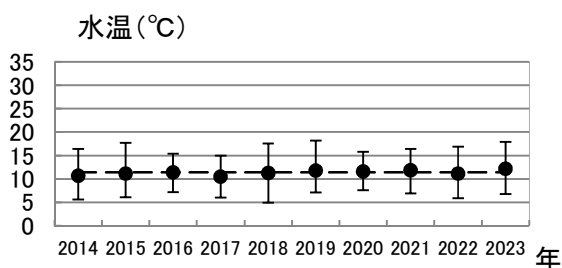
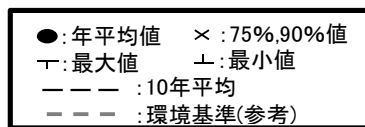
(2) 301折戸川(流入河川)



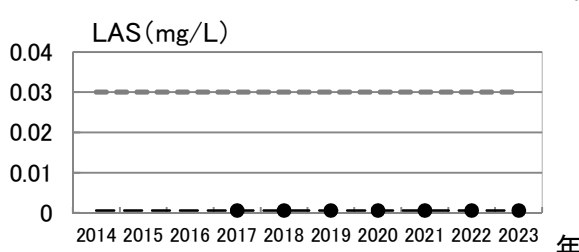
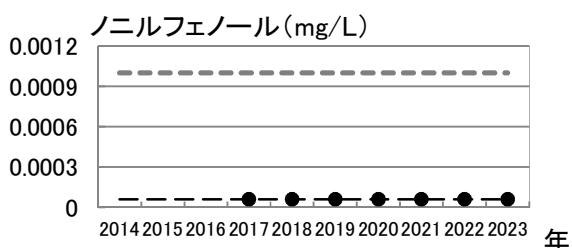
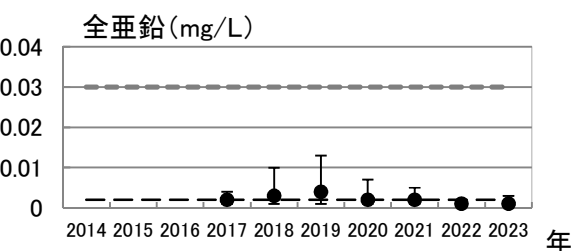
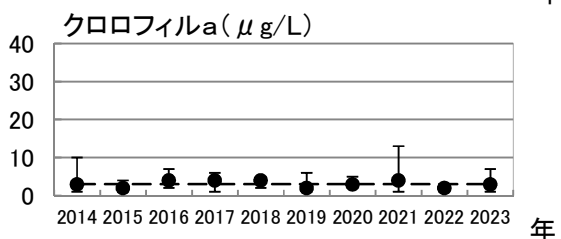
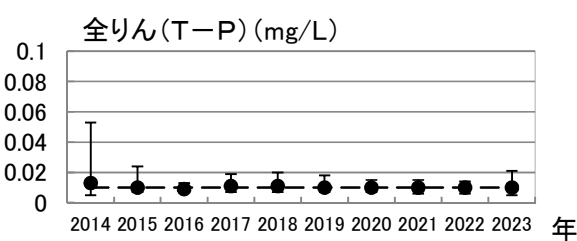
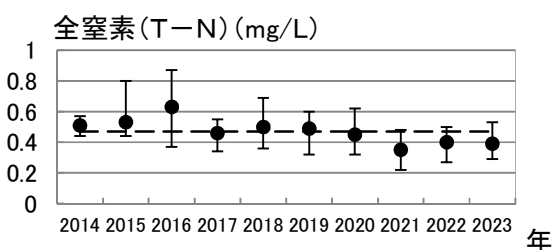
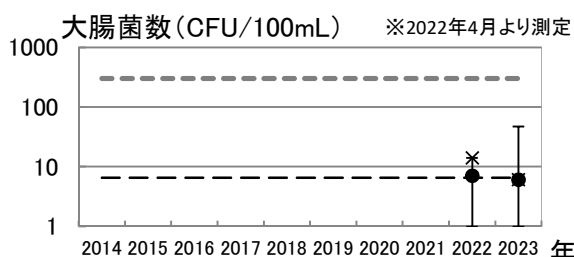
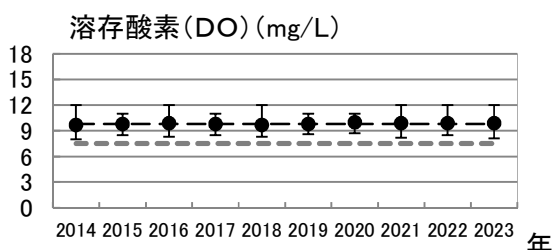
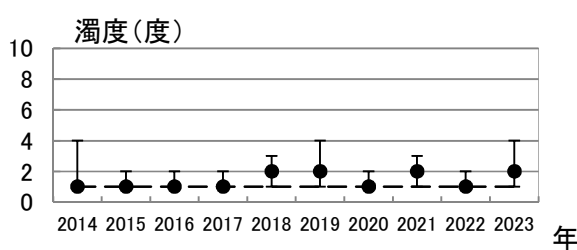
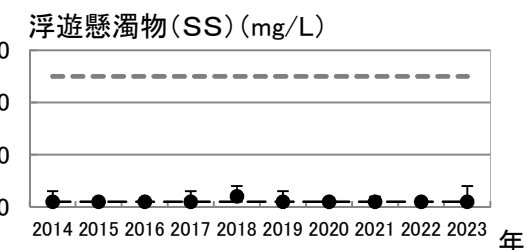
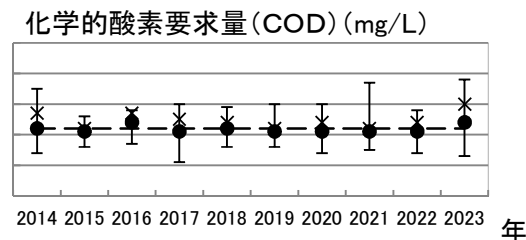
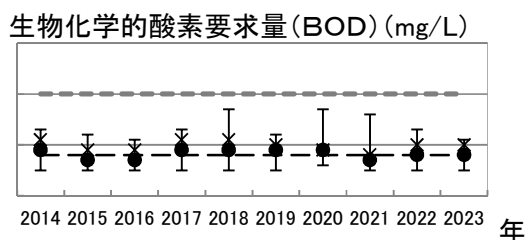
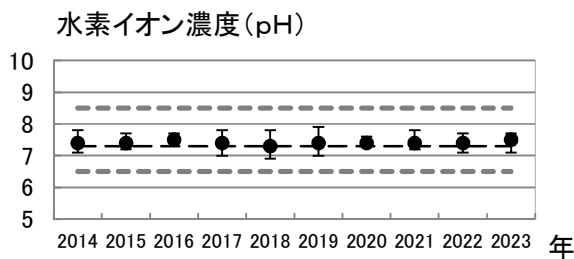
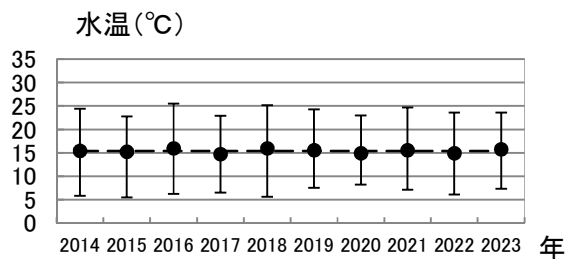
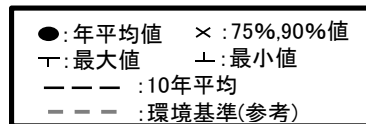
(3) 200貯水池内基準地点(表層)



(4)200貯水池内基準地点(全層)



(5) 100放水口(下流河川)



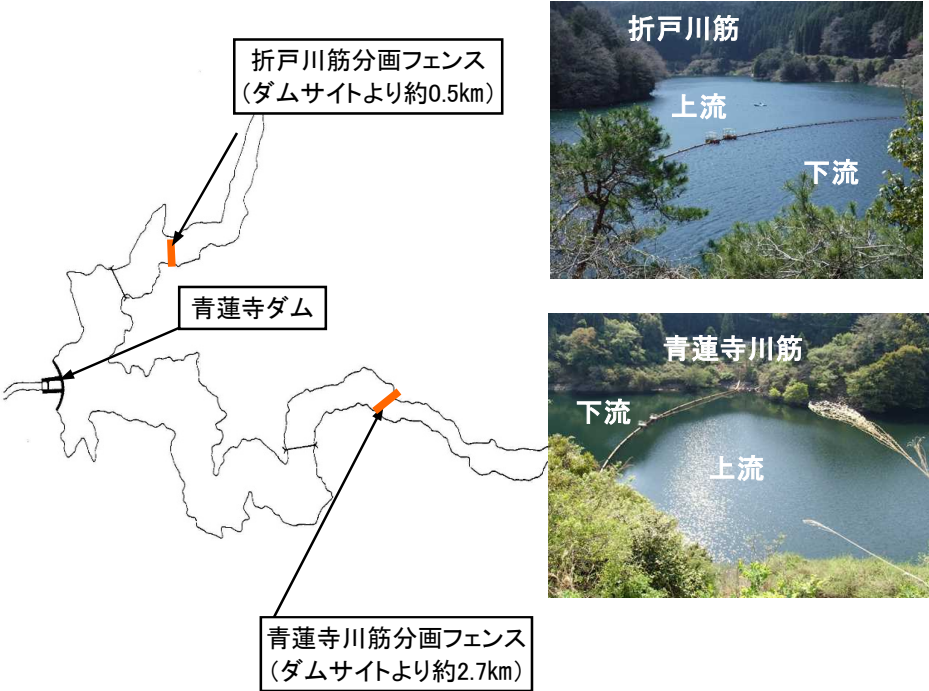
8. 水質異常の発生状況（青蓮寺ダム）

水質年報として取りまとめを始めた平成15年（2003年）以降における水質異常の発生状況は次図のとおりである。

	水質異常	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2003年	アオコ その他(水の華)						6/11ホルボックス、ケラチウム	7/2スタウラム	8/18ミクロキスティス	9/2アナヘナ	10/29ミクロキスティス		11/4
2004年	淡水赤潮 その他(水の華)				4/9ホルボックス	4/21ペリディニウム、ケラチウム	6/2				10/6		
2005年													
2006年	アオコ 淡水赤潮						6/5ウログレナ	6/22	8/3③アナヘナ	9/26②～③ミクロキスティス			11/8
2007年	アオコ 淡水赤潮							7/4②アナヘナ	9/13③ミクロキスティス				11/27
2008年	アオコ						7/3②アナヘナ	7/29②～③ミクロキスティス	9/24①～②				10/20
2009年	アオコ 淡水赤潮 濁水長期化				4/9ウログレナ	4/17	6/8②～③アナヘナ	7/31ミクロキスティス			10/21		
2010年	アオコ						6/30②アナヘナ	7/16					
2011年	アオコ							7/13②アナヘナ	8/10				
2012年	淡水赤潮						6/1ウログレナ	6/18					
2013年	アオコ その他(水の華)							7/12②アナヘナ	7/17④	7/29			
2014年	淡水赤潮				5/15ウログレナ			※魚臭	5/29				
2015年	アオコ								8/28②ミクロキスティス	8/31④	10/2②	10/8	
2016年	アオコ							7/25③ミクロキスティス・アナヘナ	8/4				
2017年	アオコ その他(水の華)									10/3②ミクロキスティス	9/27	10/3	10/17
2018年	アオコ							9/19③ミクロキスティス	アナヘナ	9/28			
2019年													
2020年	アオコ 淡水赤潮				4/28ウログレナ	5/20		7/16①～④アファコゾモン、アナヘナ					10/21
2021年	淡水赤潮				4/21ウログレナ	5/10							
2022年													
2023年													
凡例	<p>発生期間・規模(アオコ、淡水赤潮、水の華)</p> <p>..... 小規模(部分的)</p> <p>===== 中規模(貯水池半分程度)</p> <p>————— 大規模(貯水池全体)</p> <p>発生期間(異臭味、濁水長期化)</p> <p>—————</p> <p>アオコの代表的なレベル(集積の状況)</p> <p>② レベル2 うっすらとすじ状にアオコの発生が認められる</p> <p>③ レベル3 アオコが水の表面全体に広がり、所々パッチ状になっている</p> <p>④ レベル4 膜状にアオコが湖面を覆う</p> <p>⑤ レベル5 厚くマット状にアオコが湖面を覆う</p> <p>⑥ レベル6 アオコがスカム状(厚く堆積し表面が白っぽくなったり青の縞模様になることもある)に湖面を覆い、腐敗臭がする</p>												

9. 水質保全設備

施設区分	表層取水設備
形式	3段式ローラーゲート 1門 ・純径間×全高 3.4m×30.0m ・段数 3段 ・取水蓋 無 ・取水範囲 EL.277.0m～EL.240.0m ・選択取水量 8 m ³ /s(取水深3m) ・最大取水量 30 m ³ /s
設置目的	冷水対策
設置時期	1969年度
施設構造等	
2023年 運用実績	・洪水時の濁水の早期解消や夏場の下流水温の状況等により、取水深を変化させ運用。 ※ ゲート上限がEL.269.85mであるため、非洪水期(10/16～翌年6/15)の貯水位維持(EL.277.0m付近)では取水深は5m以上となる。

施設区分	分画フェンス
形式	分画フェンス 2基 折戸川筋(H17.3設置) ・長さ159m(深さ5m、不透水性、船通し6.7m含む) ・船通し 1門 青蓮寺川筋(H25.3再設置) ・長さ149.1m(深さ5m、不透水性、船通し9.1m含む) ・船通し 1門
設置目的	藻類発生抑制対策
設置時期	折戸川筋 2005年 青蓮寺川筋 2013年(再設置)
施設構造等	 <p>折戸川筋分画フェンス (ダムサイトより約0.5km)</p> <p>青蓮寺ダム</p> <p>青蓮寺川筋分画フェンス (ダムサイトより約2.7km)</p> <p>折戸川筋 上流 下流</p> <p>青蓮寺川筋 下流 上流</p>
2023年 運用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・折戸川筋分画フェンスを水深5mで通年運用した。 ・青蓮寺川筋分画フェンスを水深5mで2023年8月15日まで運用した。 青蓮寺川筋分画フェンスは、8月15日の出水の影響で、中央の通船ゲート付近で分離された状態となり、以後、年内は運用を停止している。